

にこにこ きらきら ゆめにむかって



おともがわ

学校報 No.44

保護者版

平成 29 年 12 月 25 日

みんなで育む豊かな心・健やかな体・確かな学力

Yes, Virginia. There is a Santa Claus・・・

今日の冬休み前集会で全校児童にした話です。

1897 年、ヴァージニアという 8 歳の少女が「ニューヨーク・サン」という新聞社に「サンタクロースは本当にいるの？」という手紙を送りました。その手紙を受け取ったニューヨーク・サン紙の記者フランシス・チャーチは、それに対する答えを社説として発表しました。その後、50 年間、新聞が廃刊になるまで、サン紙は毎年クリスマスになるとこの社説を発表しました。そして、この社説は「世界で最も有名な社説」の一つとなったのです。それは、こんな社説です。

ニューヨーク・サン新聞 1897 年 9 月 21 日 社説欄

本紙は、以下に掲載される投書に対して直ちにお答え申し上げるとともに、このように真っ直ぐな方が読者にいらっしやることを、心から嬉しく思います。

「こんにちは、しんぶんのおじさん。

わたしは、8 さいのおんなのこです。じつは、ともだちがサンタクロースはいないというのです。パパは、わからないことがあったらサンしんぶん、といいます。だから、わたしにほんとうのことをおしえてください。サンタクロースはいるのですか？ ヴァージニア・オハンロン」

ヴァージニア、お答えします。サンタクロースなんていないという、あなたの友達は間違っています。きっと、何でも疑いたくなる年頃で、自分が見たことがないものは信じられないのでしょうか。けれども、大人でも何もかも分かっているわけではありません。

人間というものは、そもそもたいそうちっぽけなものです。私たちの住んでいるこの限りなく広い宇宙では、人間の知恵なんて 1 匹の虫のように、そう、それこそアリのように小さいのです。この広く深い世界を知るためには、大きな深い知恵が必要です。

実はねヴァージニア、サンタクロースがいるというのは、決して嘘ではありません。この世の中に、愛や、人への思いやりや、真心があるのと同じように、サンタクロースも確かにいるのです。君も分かっているでしょう？ 世界に満ち溢れている愛や真心こそ、毎日の生活を美しく、楽しくしているものなのだとすることを。

もしもサンタクロースがいなかったら、この世の中は、どんなに暗く、寂しいことでしょうか。ヴァージニアのようなかわいらしい子どもがいない世界なんて考えられないのと同じように、サンタクロースがいけない世界も考えられないことです。サンタクロースがいないとすれば、愛も、思いやりも真心も、目に見えないものは全部ないことになってしまいます。そうすれば、世界をいつも温かくしてくれている子どもたちの笑顔も輝きも、消えてしまうことでしょうか。

サンタクロースが信じられないという人は、きっと妖精もいないと言うのでしょうか。試しに、クリスマスイブにパパに頼んで探偵を雇って、ニューヨーク中の煙突を見張ってもらったらどうでしょう。ひょっとすると、サンタクロースを捕まえることができるかもしれませんよ。でも、例え煙突から降りてくるサンタクロースを捕まえることができなかつたとしても、それが何の証拠になるのでしょうか。サンタクロースを見たことがある人はいません。けれどもそれは、サンタクロースがいけないという

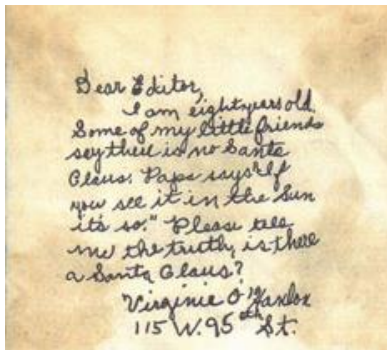
証明にはならないのです。この世の中で一番確かなこと、それは、子どもの目にも、大人の目にも見えないものなのです。

ヴァージニア、あなたは妖精が芝生で踊っているのを見たことがありますか？もちろん、ないでしょう。だからといって、妖精なんてありもしないでたらめだなんてことにはなりません。この世の中の見えないもの、見るができないものが何から何まで、人が作り出したでたらめだなんていうことは決してないのです。

赤ちゃんの「ガラガラ」というおもちゃは、どうして音が出るのか、中を開ければ仕組みを調べることができます。でも、その目に見えない世界をおおい隠しているカーテンのようなものは、そう簡単に開けることはできません。どんな力の強い人にも、いいえ、世界中の力持ちが寄ってたかっても引き裂くことはできません。けれども、信頼や想像力や愛や真心のようなものだけが、そのカーテンを引くことができ、そのカーテンの向こうの、例えようもなく美しく輝かしいものを見せてくれるのです。うそじゃないかって？いいえヴァージニア、いつでも、どこでも、これだけは本当のことなのですよ。

サンタクロースがいらない？とんでもない！サンタクロースはちゃんといいます。今、このときも、そしてこれからもずっといます。それどころか、千年、いえあと百万年経っても、サンタクロースはいつまでも、子どもたちの心を、今と変わらずわくわくさせてくれることでしょう。

※大久保ゆう氏、中村妙子氏の訳を参考に、平田が修正を加えました。



【ヴァージニア・オハンロンが出した手紙】



【返事を書いたフランシス・チャーチ】

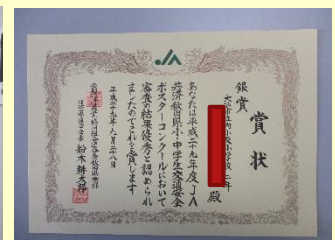
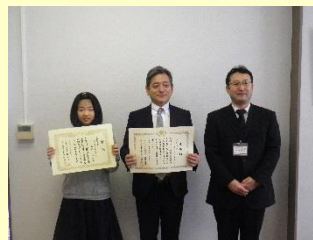
どうぞ、温かなクリスマスをお過ごしください。
そして、よいお年をお迎えください。

入賞続々！「基本的人権に関する作品募集」「交通安全ポスターコンクール」

11月に応募した「基本的人権に関する作品募集」で5年生の〇〇〇〇〇さんが支局長賞を受賞しました。また、本校から多くの募集があったということで学校に感謝状をいただきました。はるかさんの標語は、次のような標語です。

「しらんぷり やめるゆうきは おもいやり」

また、「J A 共済秋田県小・中学生交通安全ポスターコンクール」において、2年生の〇〇〇〇さんが銀賞を受賞しました。自転に乗っている女の子がヘルメットをかぶって田んぼに囲まれた道路を走っているところを表したポスターです。



大曲支援学校から平成30年度のカレンダーをいただきました

ハローの会で交流を続けている大曲支援学校のお友達が、自分たちで作成した来年度のカレンダーを持ってきてくれました。来年の干支であるかわいい犬がたくさんのカレンダーです。さっそく廊下に飾らせてもらいました。

